



Uコート

NETIS(国土交通省の新技术登録システム)に登録されています。
【登録番号はKK-060001Vです。】

Uコートは、アスファルト、合成樹脂、特殊フィラーを主原料とした骨材飛散対策用の補修材です。補修面との強い密着性、防水性、耐候性によって、簡便な施工で高い耐久性を有する補修を可能とします。

Uコートの特長

- 1 塗布作業のみで骨材飛散を解消します。
- 2 有機溶剤、その他の毒性物質を一切使用しておりません。施工時の火災の危険、作業者の健康への害及び大気汚染の心配が全くありません。
- 3 強い密着性によって、高い耐久性を発揮します。また、仕上がりが薄層なので、補修箇所が目立ちません。
- 4 耐候性に優れており、太陽光線や雨水による劣化が少なく、かつ極寒状況でも脆くなりません。
- 5 施工には火気を使用しません。常温施工によって地球温暖化の防止に貢献します。
- 6 固形分の割合が高く、乾燥が早いいため、施工時間が短くて済みます。



Uコートの荷姿
Uコートバインダー/10kg(5kg×2袋)
珪砂/10kg(5kg×2袋)
合計/20kg(段ボール箱入り)

Uコートと専用骨材の混合

Uコートと専用骨材(特殊配合の珪砂)を混合させます。



Uコートの施工

Uコートの施工前と施工後の状況です。



施工前

施工後

Uコートの塗布

塗布作業のみで簡単に施工できます。



事前準備
(清掃及びカバー)

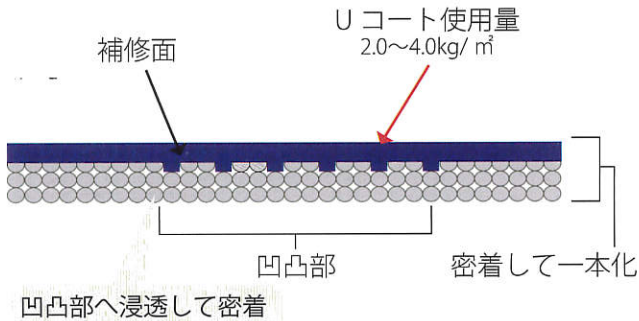
Uコート塗布
(ローキ等で簡単に
塗布可能)

Uコート仕上がり
(養生中)

(注意クラックが発生している箇所については、当社製品クイックバーの併用をお勧めします。)

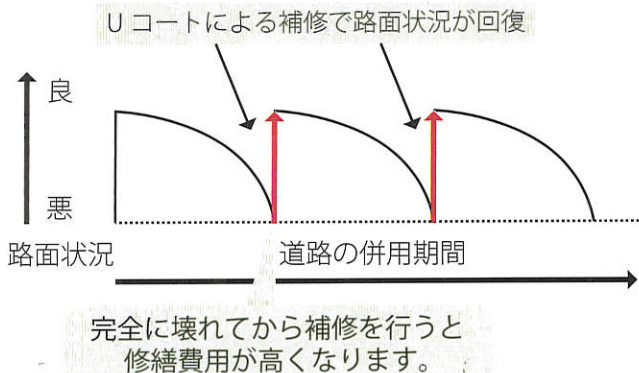
Uコートの構造

Uコートは骨材飛散が発生した舗装表面に密着して破損の進行を防止します。



Uコートによる修繕の考え方

早め早めに簡単な修繕を行う方が、トータルコストが低減されます。



Uコートの施工方法

使用道具

清掃用具(ブローア・箒等)、養生材(ガムテープ等)、ゴムレーキ又は自在刷毛、攪拌・洗浄用の空き缶またはバケツ、柄杓、攪拌器・発電機

施工手順

1. 施工箇所をブローア・箒にて清掃する。
2. ガムテープ・マスキングテープ等にて養生。
3. 下地処理工及び塗布工。
 - (1)クラック発生箇所は、クラック補修実施が望ましい。(当社製品のクイックバーの併用をお奨めします。)
 - (2)Uコートバインダー5kg(1袋)、専用骨材5kg(1袋)を容器に入れ攪拌する。攪拌後、ゴムレーキ又は、自在刷毛にて一回目を塗布する。乾燥後、2回目を塗布する。硬化時間の目安として夏場1~2時間、冬場2~3時間。
 - (3)路面温度が20℃以上の時は、路面にじょうろで水を撒き、表面の水 droplet をゴムレーキ又は自在刷毛で取り、その後表面が乾燥するまでにUコートを塗布して下さい。
4. 施工完了・養生・解放。

養生期間(約1日)を設けられれば、耐久性が向上します。

※周囲温度が5℃以下の場合は施工しないで下さい。
 ※材料は6ヶ月以内に御使用下さい。
 ※材料保管所は温度・湿度変化の小さい屋内でお願いします。

取扱い上の注意点

使用に先だって、必ず以下の取扱い上の注意点をお読み下さい。間違った取扱いをされた場合に生じた事故についての責任は負うことができません。

- 本製品はアスファルト舗装補修材料です。用途以外の目的で使用しないで下さい。
- 作業の際には適切な保護具(手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用して下さい。
- 誤って目、鼻、口等に入った場合は直ちに清浄な水で洗浄し、医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は付着物を布で拭き取り、直ちに多量の水及び石鹸で洗い落して下さい。
- 子供の手が届く所、湿気の多い所、気温40℃以上又は0℃以下になる所での保管は避けて下さい。
- 使用済の容器や残材料は、必ず自治体の産業廃棄物処理条例に従って処理して下さい。
- Uコートは材料の乾燥によって強度が発現します。路面温度が10℃以下(目安として気温5℃以下)の場合は、乾燥しづらいため施工には適しません。
- 大きなクラックが発生している箇所については、クラックの補修を行ってから施工して下さい。

商品に関する疑問、質問等は下記へお問い合わせ下さい。

光工業株式会社 環境部

〒612-8415

京都府京都市伏見区竹田中島町5番地

TEL 075-641-5366 FAX 075-645-3736

E-mail kankyoubu@hikarikogyo.net

商品のご注文は下記販売代理店へ

販売代理店